



2026 年 9 月 17 日

株式会社あいち銀行

法人決済プラットフォーム「Arch Bridge（あーちブリッジ）」の提供開始について ～ 請求書の受領・管理から決済・支払いまでをつなぎ、地域企業の経理業務の効率化を支援 ～

株式会社あいち銀行（代表取締役頭取 鈴木 武裕）は、TISI 株式会社（代表取締役社長 執行役員 岡本 安史、以下、TISI）と連携し、法人決済プラットフォーム「Arch Bridge（あーちブリッジ）」の提供を開始しますのでお知らせいたします。

「Arch Bridge」は、請求書の受領・管理から決済管理、法人向けインターネットバンキングによる支払いまでを一元的に管理できるプラットフォームです。請求書 DX サービス、TISI が提供する決済 DX プラットフォーム「DX Connect Gate」、当行の法人向けインターネットバンキングを連携させることで、これまで分断されがちであった経理・支払業務の効率化と業務品質の向上を支援します。

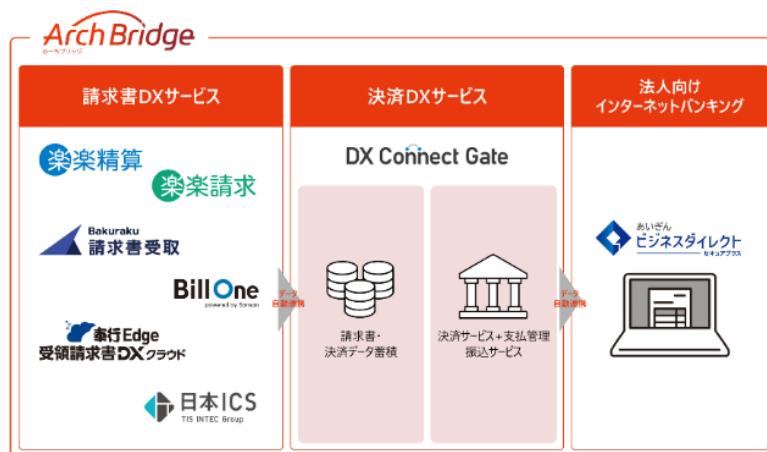
また、「DX Connect Gate」を基盤とするサービスは、東海 3 県（愛知県・岐阜県・三重県）に本店を置く地域金融機関では、当行だけが提供できるサービスです。

当行は引き続き、金融サービスを通じて地域企業のデジタル化・業務効率化を積極的に支援してまいります。

記

1. 「Arch Bridge」の概要

「Arch Bridge」は企業の請求書受領から決済・支払いまでの一連の業務をつなぐ法人のお客さま向けの決済・経理 DX プラットフォームです。



※「DX Connect Gate」は、TISI 株式会社が提供する、請求書の受領から支払までをデジタル化するプラットフォームです。

紙、PDF、Web ダウンロードなど、さまざまな形式で受領する請求書を請求書 DX サービスでデータ化・管理し、決済 DX サービス「DX Connect Gate」を通じて支払伝票の作成、承認、振込データの作成・連携を行います。その後、当行の法人向けインターネットバンキング「あいぎんビジネスダイレクト」等により、支払いを実行できます。

【期待される効果】

- ✓ 請求書の受領・保管・検索にかかる事務負担の軽減
 - ✓ AI-OCR 等を活用した請求書データ化による入力作業・確認作業の効率化
 - ✓ 支払伝票の作成から承認、振込データ作成までの一元管理
 - ✓ 支払期日や支払状況の可視化による、支払漏れ・重複支払い等のリスク低減
 - ✓ 権限管理や操作履歴の活用による、内部統制の強化
 - ✓ インボイス制度および電子帳簿保存法に対応した運用の支援
- ※利用する請求書 DX サービスおよびオプションにより、利用可能な機能は異なります。

2. サービス提供時期

2026 年 10 月（予定）

3. 導入の背景

当行は、あいちフィナンシャルグループ DX 推進計画に基づき、お客さまの IT・デジタル化に関する課題解決に向けて、支援すべき業務領域を検討してまいりました。

検討を進める中、経理・バックオフィス業務において、インボイス制度や電子帳簿保存法の改正などへの対応に伴う業務負担の増加や、従業員の高齢化・人手不足など、多くの企業が課題を抱えていることを踏まえ、本サービスの導入を決定いたしました。

今後も本サービスの提供にとどまらず、グループ会社や本事業に関わる企業との連携をさらに強化し、お客さまに寄り添った多面的なコンサルティングやシステム導入支援を行ってまいります。

以 上